



きずな

KI ZUNA

第21号
2011年
夏号

主な目次

集結!! 地域のか～災害ボランティア～	②～③
平成23年度主な事業計画・予算	④
平成22年度主な事業報告・決算	⑤
地域だより 山武地域・成東地域	⑥
蓮沼地域・松尾地域	⑦
社協会員募集・日赤社員募集	⑧
こころ・キラキラ ゴールドクラブ便り	⑨
インフォメーション	⑩



特集 集結! 地域のか～災害支援ボランティア～
 同じ市民が“支援しなければ”という思いから1,500名近くの方が活動し、172件のお宅を支援することができました。 関連記事2～3ページ



集結!

地域のかゝ災害支援ボランティア

東日本大震災という未曾有の大災害、山武市でも住宅の全半壊、家屋の浸水、水道の断水、停電など、私たちの身の回りでも様々な被害を受け、心に不安を抱えたことと思います。

災害地域の支援に立ち上がったボランティア…

この震災で災害後、被災者を支援しようと市内はもちろん、県内外から多くの方が行動してくれました。社会福祉協議会では、地元消防団、市民団体、市と協力して被災地の要請をうけ山武市木戸に拠点を置き、被災地支援のボランティアを受け入れ、3月17日〜27日の間、災害支援活動を実施しま

活動に参加した支援者の声

山武市消防団第4分団第7部

団員一同



震災後私たちは、「地元にいる若者は自分たちだけ。地域の人を助けなきゃ」と行動していました。自分たちも被災者ですが、たくさんボランティアのみなさんに来ていただいていたのがたかったです。

津波により失ったものが多く、先のない不安な状況の中、ボランティアの方々の温かい声かけや災害支援活動に対する熱いエネルギーを感じ、作業はもち

した。この活動は防災行政無線での市民への呼びかけから始まりました。それは、山武市で被害に遭われている方へ、同じ市民が支援しなければという思いからでした。おかげさまで1500名近くの方々に活動していただき、172件のお宅を支援することができました。

ろん、気持ちの面でも助けられました。地元消防団としてまた地域住民として本当に感謝しています。ありがとうございます。

鳴浜地区社会福祉協議会

会長 加藤 紀一



テレビで東北の事ばかりやっていたので身近に被害があるとは思いませんでした。地区に防災

組織があり以前より話し合いがあったのでボランティア活動には抵抗なく入れました。地区軒協の仲間と連日活動し、支援場所ではどこでも「津波の力はすごいな

あ」と驚かされました。いま、経験したこと地区の老人会などで話をして伝えていきます。また、これからも伝えていこうと思っています。

石橋いちご園

園主 石橋 芳明

いちごを届けたくっけは友人宅が被災したと聞いたことからでした。同じ山武市でも津波の被害については全く知りませんでした。現地を見て初めて被害のすごさを知りました。



木戸で活動をしている災害支援ボランティアの方々にいちごを届け食べていただきました。皆さんに喜んでいただけるとよかったです。

NPO法人 九十九里ライフセービング

理事 伊藤 隆寛

私たちは年間を通して九十九里沿岸で海の監視活動をメインに活動しています。



山武市の被災された地域にも年間を通しての救助訓練や宿舎としてお世話になっているお宅があり、「日ごろお世話になっている方々に何かお手伝いできないか。」という思いからみんなで活動を始めました。被災した様子はいつも見ていたものと違い、元の状態に早く戻したい一心で

活動しました。

まだまだ復興には時間がかかると思いますが、元のような山武市になるよう、これからも一緒にがんばりましょう。

災害支援ボランティアの為に

炊き出しグループ

メンバー 永井 美津子



私は震災後「何かやらなきゃ、何かできないか？」と考えていました。そんな中、友達からお手伝いして欲しいと言われ、「待ってました」と活動に参加しました。

当初4人のメンバーで始まった活動は、口コミで友達が友達を呼び、約60人までボランティアの輪が広がりました。中には自分たちの活動を伝えたいと、20歳のお孫さんを誘って来てくださった方もいました。活動が続くにつれ、災害支援ボランティアさんも増え、最大330食の昼食を作りました。自分たちも応援する充実感を得ることができました。このメンバーの輪は、活動が終わった今でもつながっていて一緒に東北へ支援活動に行っています。

これからの山武市にもこのつながりがきつと大きな力となると信じています。まさしく、「一人がみんなのために、みんなが一人のために」の気持ちで行動していきましょう。

一人ひとりが 地域の力に……

みなさんが、
この災害で感じたことはなんでしょう。
この災害で学んだことはなんでしょう。
この災害で伝えることはなんでしょう。

まだ、傷が癒えない今だからこそもう一度振り返ってみませんか。
そして、「今の自分にできることは何か？」を少し考えてみませんか。



8 9 片づけられた家財道具

1 2 3 4 5 6 7 活動状況

10 11 12 つかの間の休息

13 14 15 支援を終えて

野村 敏子	10,000 円
會田 トシエ	30,000 円
馬渡 辨龍・竜彦	20,000 円
浦木 やす子	10,000 円
小林 政夫	2,000 円
日蓮宗千葉県東部宗務所	100,000 円
マリンハウス雅	70,000 円
ボーイスカウト東金第一団	191,517 円
山武市身体障害者福祉会	27,500 円
山武市手をつなぐ親の会	50,000 円
鈴木 広	24,167 円
小倉 文彦	3,257 円
山武市蓮沼地域民生委員・児童委員協議会 会長 善塔 雄	30,000 円
料理サークル 賞味会	20,000 円
芝山福成の会	12,000 円
募金箱	2,956 円
匿名	10,000 円
匿名	30,000 円
匿名	10,000 円
匿名	2,000 円
匿名	13,000 円
匿名	10,000 円
匿名	623,045 円
岩澤 育子・下尾 由美子	食品多数

見舞金額 1,421,000円(163件)
(平成23年6月30日現在)

↓
総額1,301,442円

集まりました寄附金は、山武市内の被災された方へ
社会福祉協議会災害援護基金取りかずし金と合わせ
せてお届けいたしました。

(有)成東浄化槽センター	50,000 円
北島三郎後援会山武市松尾支部 代表 五木田 貞夫	60,000 円
ゴールドクラブ松尾支部	20,000 円
祝水長寿会	20,000 円
(有)鈴木産業 鈴木 貞一	500,000 円
鳴浜友の会	10,000 円
横田台区	30,000 円
大木ゴールドクラブ	30,000 円
西沖渡地区	50,000 円
歌ごえのわ	22,750 円
旧美濃輪水利組合	24,886 円
宝寿会	10,000 円
スナック杉の木	33,329 円
板川ゴールドクラブ	25,607 円
大木区会	60,000 円
大木夏祭り実行委員会	40,000 円
フレッシュフードさいとう	48,533 円
なかよし会 代表 大久保 秀子	25,000 円
山武西小学校	18,065 円
小川 五郎	318,123 円
土屋 正昭	10,000 円
大室 卓	5,000 円
松田 英志	18,853 円
中光 るり子	10,000 円
理事・評議員	27,000 円
社会福祉協議会職員	31,595 円
社会福祉協議会職員 各窓口設置募金箱	46,860 円
匿名	10,000 円
匿名	30,000 円
匿名	4,712 円

↓
総額1,590,313円

集まりました義援金は、共同募金会へ送金させ
ていただきました。

みなさまの温かいお気持ち、
ありがとうございます

～東日本大震災災害義援金寄附金～
平成23年3月15日から
平成23年5月31日までの受付分

(順不同敬称略)

平成23年度事業計画

○基本方針○

5か年計画である「地域福祉活動計画」に基づき「誰もが、ありのままに・その人らしく、地域で暮らすことができる」地域社会の実現に向け、市民や専門職、諸団体との連携を図り、「一人ひとりが地域の力」となるために、自らの地域課題を自らの手で解決する仕組みづくりに取り組みます。

また、福祉サービスのより一層の充実及び地域福祉活動を推進するために、組織理念・機能の再認識と強化を図りながら活動していきます。

主な事業実施計画

1.住民ニーズ・福祉課題の解決に向けた仕組みづくり推進

●地域福祉活動計画の推進

2.市民の福祉意識高揚と社会福祉協議会の理解者づくり推進

●広報・啓発活動の実施

- 社協広報誌の発行
- 社会福祉大会の開催
- 福祉イベントの開催

3.市民を中心とした参加型福祉コミュニティづくり推進

●地域福祉活動の推進

- 地区社協活動支援事業
- ふれあいいきいきサロン事業
- 地域みまもりサービス事業
- 親子ふれあい事業
- 福祉活動団体支援事業
- 福祉のこころづくり講座の開催
- マイクロバス貸出事業

●住民参加型在宅福祉サービス事業の推進

- 福祉輸送サービス事業
- 住民参加型在宅福祉(家事援助)サービス事業

●共同募金運動・日本赤十字社資募集運動への協力

4.新しい福祉活動の担い手づくり推進

●ボランティア・市民活動の推進

- ボランティア・市民活動センターの運営
- ボランティア講座の開催
- ボランティア・市民活動体験学習の開催
- ボランティア広報・情報誌の発行
- おもちゃ図書館事業

●福祉教育の推進

- 福祉教材貸出事業
- 福祉体験学習の開催

5.誰もが安心して暮らせるまちづくりの推進

●総合相談事業の推進

- 心配ごと相談・弁護士相談事業
- 福祉資金貸付事業

●福祉サービス利用援助事業の推進

- 広域後見支援センターの運営

●日常生活支援事業の推進

- ホームヘルプサービス事業
- 介護者リフレッシュ事業
- みんなの介護スクール事業
- おとこの料理教室事業
- 外出困難者生活支援事業
- 有料配食サービス事業
- 福祉カー貸出事業
- 福祉用具等貸出事業
- 歳末たすけあい事業

●災害対策と災害当事者への支援事業の実施

- 交通遺児援護基金
- 防災ネットワークの構築
- 災害見舞金

●指定管理施設の管理・運営

- 山武市福祉作業所の経営(3か所)
- 山武市簡易マザーズホームの経営
- 山武市成東老人福祉センターの経営
- 山武市山武福祉センターの経営

●介護保険・障害者自立支援事業の推進

6.関係団体との協働体制の拡充

●関係団体支援事業及び連携強化

- 山武市ゴールドクラブ連合会の運営支援
- 山武市身体障害者福祉会の運営支援
- 山武市手をつなぐ親の会の運営支援
- 山武市赤十字奉仕団の運営支援
- 山武市ボランティア連絡協議会の運営支援

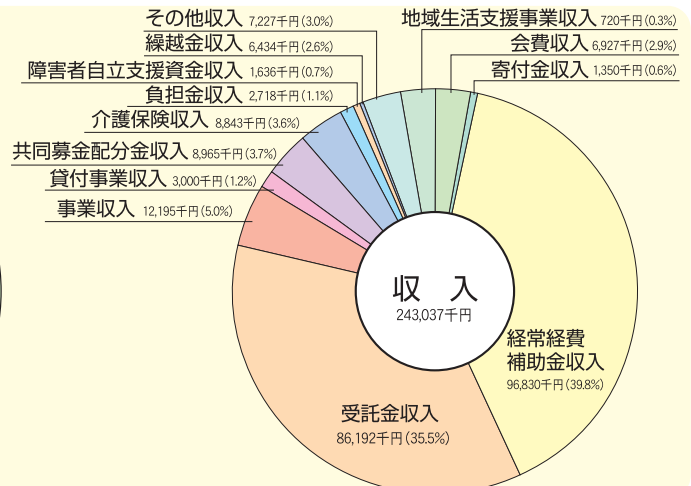
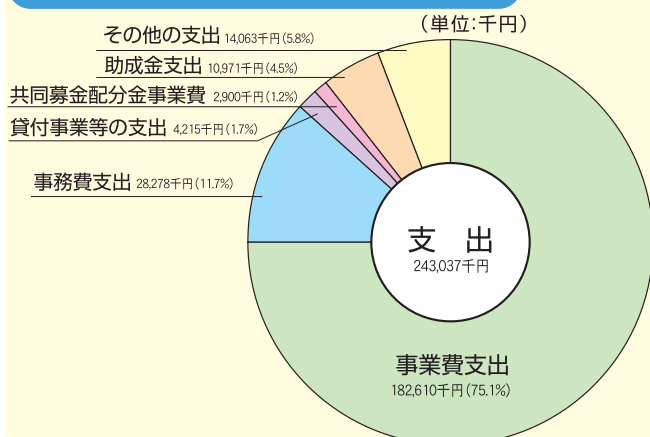
●協組織の基盤強化

●財政基盤整備事業

- チャリティーイベントの開催
- 社協会員募集事業

●社協役員スキルアップ事業

平成23年度一般会計収支予算



平成22年度主な事業報告

1. 住民ニーズ・福祉課題の解決に向けたしくみづくり推進

- 地域福祉活動計画の推進
- 地域福祉フォーラム事業の推進
 - 基本福祉フォーラムの実施
- 総合相談事業の推進
 - 一般相談 (開設日数 56日 相談件数 55件)
 - 弁護士相談 (開設日数 45日 相談件数 299件)
- 福祉サービス利用援助事業
 - 契約者総数 18名
- 福祉資金貸付事業
 - 緊急援護費 18件 ● 生活援護費 3件
 - 福祉資金 98件(県社協)

2. 市民の福祉意識高揚と社会福祉協議会の理解者づくり推進

- 広報・啓発活動の実施
 - 社協広報誌の発行 4回
 - 山武市社会福祉大会の開催
 - 山武市健康福祉まつりの開催



3. 市民を中心とした参加型福祉コミュニティづくり推進

- 地区社協活動の推進 14地区
- ふれあいいきいきサロンの開催 39サロン設置
- 地域みまもりサービス事業
 - 36回実施 延べ利用者数422名
- 住民参加型(家事援助)サービス事業
 - 利用会員 36名 協力会員32名
 - 延べ活動回数 710回
- 福祉輸送サービス事業
 - 利用会員185名 協力会員48名
 - 延べ活動回数 3,543回
- 学童クラブ児童輸送業務受託事業
 - 延べ活動回数 693回
- 共同募金運動・日本赤十字社社資募集運動への協力



4. 新しい福祉活動の担い手づくり推進

- ボランティア活動の推進
 - 登録者 73グループ 1,165名/個人 173名/災害支援 682名/合計 2,020名
- ボランティア・市民活動講座の開催
 - 9回実施
- 福祉教育の推進・学校等への協力
 - 10校 延べ日数21日
- おもちゃ図書館事業の実施
- 東日本大震災における津波災害支援ボランティア活動
 - 11日間 延べ人数1,331名



5. 誰もが安心して暮らせるまちづくりの推進

- 日常生活支援事業の推進
 - 介護者リフレッシュ事業 3回
 - 有料配食サービス事業
 - 利用者数 47名
 - 延べ配食数 2,359食
 - 福祉カー貸出事業 823回
 - マイクロバス貸出事業 80回
 - 福祉用具等貸出事業 118件
 - 家族介護教室事業 2回
 - おとこの料理教室 30回 延べ参加人数352名
 - 親子ふれあい事業 1回
- 災害当事者への支援事業の実施
 - 交通遺児援護基金 3件
 - 災害(火災)見舞金 全焼7件 半焼3件(日赤物資提供)
- 指定管理施設の管理・運営
 - 山武市福祉作業所の経営(3か所) 契約者数41名
 - 山武市簡易マザーズホームの経営 契約者数47名
 - 山武市成東老人福祉センターの経営
 - 山武市山武福祉センターの経営
- 介護保険・障害者自立支援事業の推進
 - 訪問介護員派遣事業(介護保険制度) 延べ件数2,624件
 - 訪問介護員派遣事業(障害者自立支援制度) 延べ件数344件
 - 地域生活支援事業(移動支援) 延べ件数201件



6. 関係団体との協働体制の拡充

- 関係団体支援事業及び連携強化
 - 山武市ゴールドクラブ連合会の運営支援
 - 山武市身体障害者福祉会の運営支援
 - 山武市手をつなぐ親の会の運営支援
 - 山武市赤十字奉仕団の運営支援
 - 山武市ボランティア連絡協議会の運営支援
 - 山武市災害ネットワーク準備会の運営支援



7. 社協組織の基盤強化

- 財政基盤整備事業
 - 社協会員募集事業 会費総額：6,028,060円
 - チャリティーゴルフ大会の開催 募金額：237,000円
- 役職員視察研修の実施(長岡市社会福祉協議会)
- 社会福祉現場実習生の受入れ
- 被災地社会福祉協議会支援
 - 旭市社会福祉協議会 7日間 延べ人数12名
- 福祉車両の助成(日本財団から寄贈 三菱ミニキャブ)

「地域防災に関するアンケート」にご協力いただきありがとうございます。ご回答いただきましたご意見を参考に地域防災活動に取り組んでいく所存ですので、今後ともご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

1. 目的

鳴浜地区をモデル地区とし、災害時における市民同士の助け合い活動の必要性和、自然災害及び自主防災組織に対する意見を伺うためアンケート調査を実施しました。

2. 調査対象

鳴浜地区 1,144 世帯の世帯主

3. 調査方法

【配布】区長様を通じて各世帯へ配布
【回収】郵送

4. 実施期間

平成 23 年 3 月 9 日～3 月 31 日

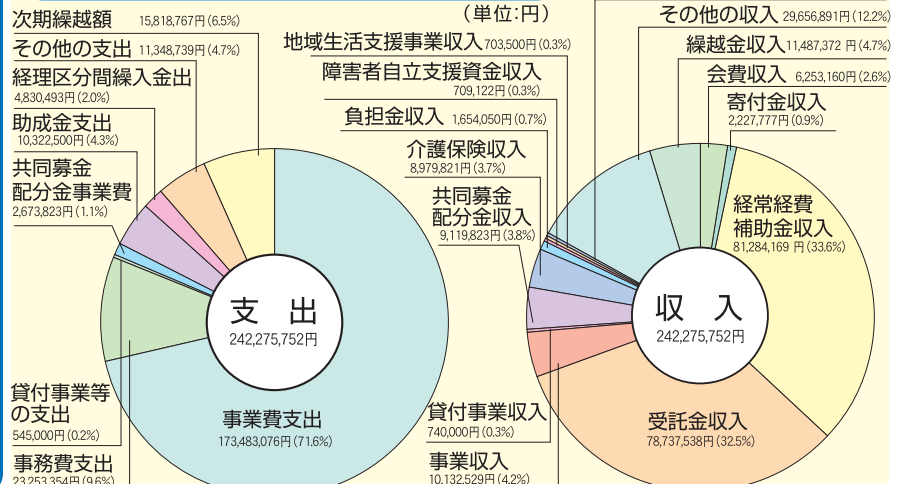
5. 回答数

271 票

6. 回答率

23.7%

平成22年度一般会計収支決算



一緒に楽しみませんか?手芸教室 睦岡地区社協

山武地域



菅野先生の手ほどきで・・・

睦岡地区社協では新事業として、手芸教室を始め今年で2年目になります。
きっかけは2年前の11月3日の福祉バザーでした。出品してくださった方の数々の手作り手芸品に刺激され、私達も作品を作れないだろうか、そしてそれがバザーに反映され、地域コミュニティの場になればどんなに素敵だろう・・・。

(福祉推進員 佐藤 玉子)

毎月第3木曜日・午前9時半より正午まで、山武福祉センターにて和気あいあいとチクタク針を動かしています。地域在住の先生に生徒7名でスタートした教室ですが、5月からは新メンバーも増えました。
興味のある方、どうぞご参加ください。



完成した品々



作業は楽しく進みます

成東地域

暑くて長～い一日 緑海地区社協

昨年の7月に実施した、ひとり暮らし高齢者の集いをご紹介したいと思います。
平成22年7月17日は、朝から暑い!高齢者と推進員合わせて45名を乗せたバスは、夏の日射しをいっぱい受けて神代植物公園へ快調に進みます。首都高に入ったあたりから、渋滞の文字が目に入り始め、やがては50キロの文字が!そこで一般道に降りても高速道の影響で大渋滞。結局目的地へは予定時間を1時間半もオーバーしてしまいました。一時は、植物公園見学を諦めようかと考えましたが、せっかく来たのだからと駆け足で巡りました。その後、汗の乾く間もなく昼食を済ませ、僅かな残り時間で深大寺を参詣し、お土産を買いました。
最後の見学場所NHKへは予定通りに到着し、ゆったりと過ごすことができました。スタジオパークでは、大河ドラマ『龍馬伝』に関する展示品や一般の人が参加できる模擬放送を見学したり、オンエア中の土曜スタジオパークの番組を運よく見る



番組見学中の参加者

ことができずしました。最後の最後でゆっくりできた感じでした。こうして暑くて長い一日は、終わりました。
参加していただいた高齢者の方や推進員の一人ひとりの思い出となって残ってもらえれば幸いです。
今年も7月16日に集いを予定しています。新しい思い出作りに一緒に出掛けましょう。

(福祉推進員 伊藤 政敏)

蓮沼地域

サロンで昔の良さを思い出す 蓮沼南九区いきいきサロン



今日は、みんなでバーベキュー

地域で何が大事なんだろう？昔は何処に行っても皆が顔なじみでした。おはよう、お茶が入ったよ、元気そうだねえと：『このあたたかさ』を多く感じられたような気がします。

この頃は、近所とのお付き合いも段々と薄くなつてしまい、寂しさがあり、もう一度地域を見直そう：と想いのひろは「たけのこ広場」を自分達の手作り毎日、汗水を流しながら作りました。

グラウンドゴルフ場では毎週1回、子どもから高齢者まで集まり、皆の笑いのなか汗を流しています。広場には桜の木や果物の木を植え、さつまいもを作つては焼き芋や、薪釜でご飯を炊き焦げ飯に懐かしさを感じながら、サロンで振舞います。

また、年に一度は、地区を挙げての『グラウンドゴルフ大会』、保育園児から90歳の高齢者まで



仲よくはじめましょう！

参加して、どこのお嫁さん？息子さん？久しぶりだねと、同じ地域に暮らしているながら、今まではこの誰かもわからない人もいたり、話をしたこともない人もありました。

今は、この広場をきっかけに顔見知りとなり、子どもたちが声をかけてくれたり、皆が笑顔を見せてくれます。

東日本大震災で沢山の方が被災されましたが、避難所での生活では人と人とのつながりや援助で多くの人が心を救われたかと思えます。

ことわざに、遠くの親戚より近くの他人とあるように、近所がいかに大切かを見つめ直し、これからも地域のここを大事に考えて活動して行きたいと思えます。

(代表 橋本 京子)

寄せ植えてふれあいと支えあいを目指して

豊岡地区社協

松尾地域



準備は万端

3月11日に「震度7という未曾有」の東日本大震災が発生し、山武市地区内においても甚大な損害を受けたことなどをふまえ、地区社協総会を開催しました。そこで、今年度最初の行事は、ひとり暮らしの高齢者に『寄せ植えの鉢花を贈ろう』と決め、なでしこことペチュニアの寄せ植え「ふれあいと支えあい」をテーマにしました。

後日、その生育状態を福祉推進員全員で確認したところ、元気な鉢花、テーマに合った仲良し鉢花など、さまざまな色合いをした寄せ植えを見ることができました。

これらを対象者、一人ひとりに「お元気ですか。お体は大丈夫ですか。」と声をかけな



真剣な話し合いが続きます

がら丁寧な訪問し励ましました。

記憶のひとつとして先輩達が生まれた頃の大正12年の関東大震災は、昼食時であり木造家屋が多かったため、東京は焼け野原となり各地へと避難し、豊岡地区にも避難してきた方が多くいたと家族や地域の方から聞きました。

震災後の復興が話題となり、「向こう三軒両隣・ふれあいと支えあい」が大切であることを痛感しました。

『鉢植え、ありがとう。会食会もやってね。』の声をいただきながら、ひと時を楽しくすこしました。

(会長 實川 克友)

平成23年度社会福祉協議会会員募集

支えあい、よりよい地域福祉の実現を・・・

社協・市内14地区社協事業は、皆様からの会費で運営しています。

社会福祉協議会は営利を目的としないため、会費・補助金・委託金などを財源として運営しています。その中でも市民の皆様からの会費は、財源の大きな柱となっています。

ぜひ本会の趣旨に賛同いただき会費を納めることにより、地域福祉事業の担い手となっていただきますようお願いいたします。6月・7月を募集月間として、一般会員は区長様・自治会長様を通じて募集を行っております。

また、賛助会員、特別会員をご希望の場合はご連絡をお待ちしております。



会費の種類

種類	会費額(1口あたり)	対象
一般会員	500円	市内各世帯
賛助会員	1,000円	個人・役職員等
特別会員	5,000円	会社・法人等

平成22年度実績

～たくさんのご賛同、ご協力ありがとうございました。～

種類	件数	実績額	備考
一般会員	12,440件	6,007,060円	市内各世帯
賛助会員	2件	11,000円	戸村和夫・宇佐美正
特別会員	2件	10,000円	グループホームもちの木 八起産業
総計		6,028,060円	

(順不同・敬称略)

赤十字活動資金へのご協力をお願いいたします。

～守りたい命があるところに赤十字がいます～

日本赤十字社は、国内の災害時の救援をはじめ、国内外の紛争・自然災害の被災者に対する緊急救援活動など、さまざまな人道的活動を行っています。

また、身近なところでは、火災や台風などによる家屋被害等の発生時には、災害見舞金や毛布、バスタオル等の物資を配布しております。

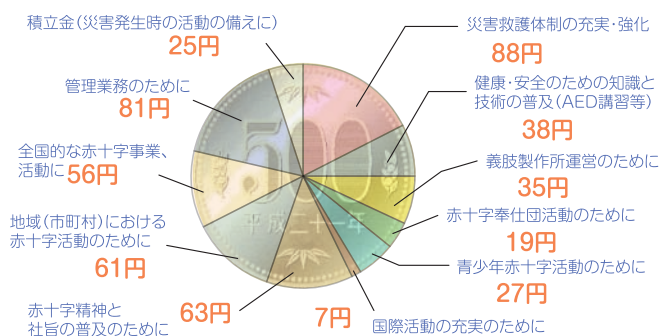
このような活動は、市民の皆様や法人企業様からお寄せいただく寄附金や社費(年額500円)によって支えられています。

今年も6月1日から7月31日を募集期間として実施していますので、ご協力をお願いいたします。

【平成22年度実績報告】

一般戸別・個人	12,077件	6,038,500円
寄附金	15件	4,281円
法人	251件	715,500円
合計		6,758,281円

皆さまからいただく500円は、次のように使われます



善意をあいがとう

～平成23年3月12日から平成23年5月31日までの受付分～ (順不同・敬称略)

◆お金のご寄附(含む1円玉募金)◆

會田 トシエ	11,650円
村上 うた子	4,044円
土橋 銀造	2,991円
並木 信子	95円
F Pプロジェクトチーム(有)	777円

◆物品のご寄附◆

匿名	お米90Kg
----	--------

吉田 幸次郎	70,000円
石橋 延士	10,020円
ボランティアグループ チャット	8,550円
成東中学校生徒会	50,000円
匿名	5,000円

◆自動販売機募金◆

日本ペプシコーラ販売(株)	352円*
---------------	-------

*さんぶの森公園に設置されているペプシコーラ自動販売機の販売本数1本つき2円寄附されます

奮闘記 ～あなたを応援したいから～No.1



奮闘とは、「力いっぱい努力すること!」。8名の『きずな編集委員』が、地域に密着した、さまざまな活動をされている皆さんの「影の力」を紹介します。初回は、福祉の水先案内人、蓮沼地域担当の民生委員さんの奮闘記です。

山武市蓮沼地域民生委員・児童委員協議会
会長 善塔 雄

3月11日、未曾有の大震災が日本を襲いました。被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げますと共に一刻も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

さて、私が民生委員という大任を昨年12月から引き受けてアッという間に半年が経ちました。民生委員の役割とは、「住民の生活状態を適切に把握し、援助を必要としている人に対して相談、助言、福祉サービスについての情報提供を行い、行政機関の業務に協力し住民の福祉の向上に努める」とあります。

現在、私は、中殿下、東殿下、北殿下区域を担当しております。主な活動はひとり暮らし高齢者世帯に対して電話等で要請があれば訪問して相談相手となり必要に応じて行政へ取り次ぎしております。先日もこのようなことがありました。「近所でノラ猫がたくさん増えてしまい自分の飼っている猫の通り穴から家の中に侵入して悪さをするので何とかして欲しい」と相談されました。(通常、穴をきちんと塞いでやれば解決するのであるが・・・)ひとり暮らしの高齢者世帯では切実な悩みであり日常生活上支障をきたしているのだな～と痛切に感じた次第です。

また、今回の未曾有の大震災は当蓮沼地域にも甚大な被害をもたらしました。多くの方が避難を余儀なくされ、ひとり暮らしの方、高齢者世帯の方々は非常に恐怖を感じたことと思います。現在、会では『災害時、一人も見逃さない運動』を展開しております。災害時、要援護者の安否確認、避難所への誘導等各地区の民生委員さんは大変ご苦労されたと聞いております。また、最近では“義援金”と称して振込させる新手法の振込詐欺や、震災にかこつけて家の修理をしますとあって、法外な修理代金を請求する悪徳訪問業者が話題となっています。十分注意していただきたいと思っております。

しかし、民生委員だけで出来る範囲は限られております。これからも行政機関との連携を密にし、地域の皆様方一人ひとりのご協力をいただいて地域住民の福祉の向上と安心、安全な地域づくりに貢献したいと思っております。

どうか、皆様方の温かいご支援とご理解をお願いいたします。



弱い立場の方々の良き理解者として、これからも“奮闘”してくださることを期待しています。 小川(蓮沼地域)

役員紹介

新しく役員となられた方をご紹介します。
本協議会運営の一層の充実を図るためお力添えをお願いいたします。(任期:平成24年3月27日まで)

《就任》

理事 雨宮 健一 氏
(山武)
評議員 小川 陽子 氏
(蓮沼)
評議員 南風野 善克 氏
(学校)

退任されました皆様には、本協議会の発展のため多大なるご尽力をいただき厚くお礼申し上げます。今後とも社会福祉活動の推進に一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

《退任》

鈴木 孝雄 氏(副会長)
吉田 貞雄 氏(理事)
笹川 勝男 氏(評議員)
佐久間 啓子 氏(評議員)

高齢者相互の支えあい

女性活動部会員の市内3施設訪問

山武市ゴールドクラブ連合会(鈴木愛伯会長)の女性活動部会の会員8名は、2月7日、高齢者相互の支えあい事業の一環として、市内3施設を訪問しました。合併し山武市として発足して以来5年間、今では女性活動部会の年間行事の主要なものになっています。市内特別養護老人施設、木戸の「青松苑」、蓮沼二の「海」、最後に松尾町田越の「桔梗ヶ丘シルバーホーム」の3施設を慰問しました。

今回は、成東、成東東、蓮沼支部の単位クラブ会長を通して多くの会員の皆さんから寄せられた善意の品、タオル、洗剤類、未開封のおむつなどたくさんの提供品を仕分けしました。また、市健康福祉まつりの際に活動の一助となればと参加し会員手作りの品を提供し、お願いした募金を見舞品と併せてお届けしました。各施設長や理事長に「少しのものですけどどうかご利用ください」とお渡しすれば異口同音に「善意ある実用的な品等を頂きありがとうございます。有効に使わせて戴きます」と返礼の言葉をいただきました。また、早速の丁寧なお礼状をいただき厚い思いを味わいました。

(女性活動部会 秋葉 昭子)

こころ・きらきら ゴールドクラブ便り



桔梗ヶ丘シルバーホーム
小野崎施設長(右)
女性活動部秋葉部会長(左)



作業が終わりほっと一息

第6回健康福祉まつり(仮称) Want スタッフ募集

今年も健康福祉まつり(仮称)を開催します。
みんなで福祉について考え、誰もが楽しみながら参加できるイベントにするためスタッフを募集します。スタッフみんなで話し合い、開催に向けてそれぞれ準備をすすめていきます。関心のある方は、社会福祉協議会までご連絡ください。

スタッフは随時募集しています!

- 総務班** イベントの広報など
- 会場運営班** 会場内の企画など
- ステージ運営班** ステージでの企画など

第1回スタッフ打ち合わせ会議

日時 平成23年7月5日(火) 午後7時~
場所 山武市成東老人福祉センター

社協イベントスケジュール

月	日	行事名
7月	8	地域みまもりサービス (山武)
	12	おとこの料理教室 (成東)
	19	地域みまもりサービス (成東)
	20	おとこの料理教室 (松尾)
	21	おとこの料理教室 (蓮沼)
	26	おとこの料理教室 (山武)
	27	地域みまもりサービス (松尾)
8月	9	おとこの料理教室 (成東)
	12	地域みまもりサービス (山武)
	16	地域みまもりサービス (成東)
	24	地域みまもりサービス (松尾)
9月	9	地域みまもりサービス (山武)
	15	おとこの料理教室 (蓮沼)
	20	地域みまもりサービス (成東)
	21	おとこの料理教室 (松尾)
	28	おとこの料理教室 (山武)
	28	地域みまもりサービス (松尾)

心配ごとと相談所開設日程

一般相談 「心の中の心配ごと」何でも相談してください。

●開設時間/午後1時30分~午後4時30分
(予約は必要ありません。受付は4時までです。)

場所	第1火曜日	第2火曜日	第3火曜日	第4火曜日
実施月	山武会場	成東会場	松尾会場 山武会場	蓮沼会場
7月	5日	12日	19日	26日
8月	2日	9日	16日	23日
9月	6日	13日	20日	27日

弁護士相談 法律的な悩みは、こちらで相談してください。

●開設時間/午後1時30分~午後4時30分
(予約が必要です。)

場所	第1水曜日	第2水曜日	第3水曜日	第4水曜日
実施月	蓮沼会場	山武会場	成東会場	松尾会場
7月	6日	13日	20日	27日
8月	3日	10日	17日	24日
9月	7日	14日	21日	28日

開設場所 成東会場：成東老人福祉センター 松尾会場：松尾ふれあい館
山武会場：山武福祉センター 蓮沼会場：蓮沼中央会館

予約
問合せ先
山武市社会福祉協議会
☎0475(82)7102

あ と が き

季節の経つのは早いですね。畑に行ったら、じゃがいもの花が咲いていました。

毎年この花を見ると60数年前のことが思い出されます。

昭和18年頃は大東亜戦争の真っ只中で、内地に残った兵隊も毎日防空壕掘りをやっていました。食糧難で兵隊も食物が少なく、弁当箱「飯盒」には真っ赤なこうりゃん飯が底の方に少し入っていました。大分腹が空いていたのではと後でわかりました。

一般の農家も食物が少なく、じゃがいもを掘りにいったらば、木は立っているのに下の芋はありませんでした。じゃがいもは兵隊の腹に入ったということを後で教えてくれました。じゃがいもの花を見ると遠い昔が思い出として心に残ります。
(宮野)

「〇〇さんですか、△△ちゃんでしょ」ではじまる電話が、2年以上前からかかってくるようになった。名前の部分は聴きとりにくい。「どちら様ですか」と尋ねると何度目かに「丸山です。」の後はひとりつぶやいている。思い当たる人が居ないので、いつもこちらから受話器を置いている。

60歳は過ぎている女性の声で病気の後遺症か耳が悪いのか言葉が自由に出ない。ある時、「あなたの近くにいる人と替わってください」というと間をおいて、受話器の奥で「今、忙しいのよ」と女性の声が聞きとれた。きっとどこかの施設にお世話になっていて、淋しくなると我が家の番号にかけてくる。誰だか分からないが、手を取り合って話を聞いてみたい、不思議な気持ちでいる。
(田村)

※広報委員の交代がありましたのでご報告いたします。(順不同・敬称略) 櫻井 久子→戸村 幸子(松尾地域)/笹川 勝男→秋葉 千恵子(蓮沼地域)

社会福祉法人 山武市社会福祉協議会
〒289-1306 山武市白幡1627(成東老人センター内)
電話:0475(82)7102 FAX:0475(82)7318
Eメール:sammushakyo@etude.ocn.ne.jp
ホームページアドレス:http://sammushakyo.sakura.ne.jp

人口動向
市の人口 57,059人
男 28,458人
女 28,601人
65歳以上 14,371人
男 6,176人
女 8,195人

高齢化率
25.1%
(前回より0.1%増)
平成23年6月1日現在



山武市社会福祉協議会は、この冊子の印刷プロセスで使用する7.01kgのアルミ板をリユースして印刷する事で、従来の印刷と比較した場合、電力量110.96kWhを削減しました。
山武市社会福祉協議会は、MCPIによる印刷を通じ、インドネシア(パルミ)の森林再生事業(国定公園内の植樹3,000本)に参加しています。

当冊子印刷は株式会社日本スリーエムエーがご印刷の御礼に、印刷料を減額・公正に審査・確認して頂戴したものとさせていただきます。

